

④7 仙台合同庁舎B棟整備事業

受賞機関 国土交通省 東北地方整備局 営繕部

キーワード 高い防災機能、環境負荷低減、国有財産の有効活用**全建賞審査委員会の評価ポイント**

仙台合同庁舎（A棟）に入居する3官署と市内別地にあった東北地方整備局を集約し、防災拠点としての耐震性確保及び集約化を図るとともに、A棟には市内に散在していた官署が入居することで、国有財産の有効活用も併せて行った事業。

東日本大震災での教訓を踏まえた高い防災機能を有する施設となっており、県市を含めた協定締結によるヘリポートの協同使用などの地域との連携も考慮されている点や、各種技術の活用による環境負荷低減を図るほか、周辺環境に配慮し市民に開かれた庁舎となっている点が評価された。

1. はじめに

本事業は、仙台合同庁舎（A棟）に入居する3官署と市内別地にあった東北地方整備局を集約し、防災拠点としての耐震性確保及び集約化を図るとともに、A棟には市内に散在していた官署が入居することで、国有財産の有効活用も併せて整備したものである。

2. 事業の概要

整備にあたっては、東日本大震災の教訓を踏まえ、災害時の業務継続が可能となる防災機能確保と、周辺環境に配慮した景観形成、既存庁舎（A棟）との一体的整備による市民に開かれた合同庁舎整備を目標とした。

具体的には、制震システムによる耐震安全性確保、設備インフラの多重化、ヘリポート整備等により防災拠点施設に必要とされる機能・性能を確保している。景観形成では、周辺建物のスカイラインや都市軸に沿い、隣接する都市公園を考慮した配置計画としたほか、行政情報プラザを視認性のよい1階玄関に配置し、各種行政情報を発信できる施設として整備した。



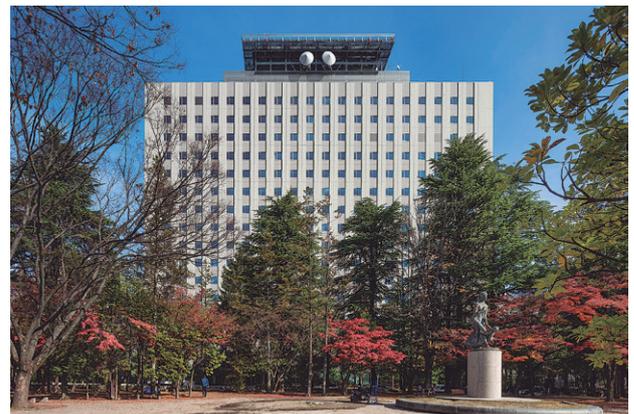
県庁（左）と仙台合同庁舎B棟（右）を望む

3. 事業の成果**1) 防災拠点施設としての機能確保**

災害対策基本法に基づく災害応急対策活動が可能となる建物性能の確保とともに、6機関の行政によるヘリポートの共同利用やインフラ途絶対策を実施している。

2) 気候風土を活用した環境負荷低減

再生可能エネルギーの利用、各種省エネルギー対策の導入による環境負荷低減、木材の積極的活用や屋上緑化及び構内緑化の一層の推進を図った。



庁舎外観（西側）

3) 保全性の高いフレキシブルな庁舎

業務ニーズの変化に対応した多様化、可変性、拡張性を考えた庁舎の実現とメンテナンス性の高い建物の実現を図るため、片寄せコアによる事務室の無柱空間を確保した。

4) 周辺環境に配慮した景観形成

景観形成に配慮した建物計画と市民に開かれた施設整備を図りながら、都市公園の緑を引き立てる品格ある建物ファサードと親しみやすいデザインを採用した。

4. おわりに

本庁舎が災害応急対策活動拠点としての機能を十分に発揮するとともに、「杜の都」仙台の中心的な都市景観形成の一翼を担い、親しまれる施設となることを願っている。

賛助会員 (株)熊谷組東北支店